

YakStackスピーカーの「延命？」を図る方法が見つかりました！

2013年12月20日 Country Squares 伊藤達彦

「第一世代」のYak Stackスピーカーの修理をしてくれるお店が見つかったのです！すごい情報ですよ！！

Yak Stackスピーカーの詳細情報は、これまでに掲載済みの「耳寄り情報」を参照してください。

1. 2010年1月29日付け「Yak Stackスピーカー情報」
2. 2013年5月14日付け「Hiltonアンプと第三世代YAKスピーカーのレポート」

縦に3個ユニットが入っています。



カントリースクエアーズの「第一世代」のYakスピーカーは、すでに20年は越えるほど使って来ました。毎週の例会等に使って来たこのタフ？なスピーカーも、(1)パワーが不足してきたように感じる (2)ハウリングもするようになってきた…このような現象を感じたのでした。新しいスピーカーの「第三世代」も効率の悪い物となってしまっています。困り果てて、インターネットでようやく見つけたお店に電話を入れたのでした。何と！埼玉県の日高市から、例会場まで来てくださり、スピーカーのチェックをしてくださったことからの情報です。

結果は予想していたとおり、かなりの大音量でもハウリングは発生しなくなりました

結果は？！高評価が得られました！

山下さんが、わざわざスクエアダンスの例会に来られて SD界の使い方の状況等は把握されています。

【問い合わせは？】

カントリースクエアーズの伊藤達彦の「紹介」と伝えてくだされば、すべて了解してくれます。

HALF YAK STACK

お店のホームページ

<http://hkfyline.free.makeshop.jp/>

お店の宣伝

会社名:HKFY LINE 代表:山下 智樹(としき)さん

〒350-1243 埼玉県日高市新堀170-4

電話:042-985-6355,(IP 050-1360-6355),(携帯080-4197-2746)

メールアドレス: y_1957_k100rs@yahoo.co.jp

ご愛用のスピーカーでお困りのことがありましたらご相談ください。またカントリーウエスタンを最高に鳴らせる米国製のスピーカー(ALTEC社製ユニットを使用)もご提供できます。お問い合わせください。

修復料金(標準):ユニット処理とユニット脱着料で¥20000/Half Yak1台/往復送料別

山下さんの現状分析:

現地で状況を確認しましたところ確かにアンプの出力が比較的少ない音量でもハウリングが発生しておりました。ユニットを点検しましたところ長年の過酷な使用に伴い、ダンパー(※1画像参照)とエッジ(※2画像参照)の腰が弱くなっている状態でした。

例えばダンパーは人で言えば腰に当たり、エッジは上腕筋肉に該当します。腰が痛ければ重いものは持てませんね。また筋力が衰えても同じですね。スピーカーも同じです。長い間の使用でそれぞれが弱くなってきて、それが原因でハウリングが発生しやすくなっていったということです。

山下さんの修理内容:

以下の対策処理を施すことにより、機能/外観は新品と同レベルまで復旧させることができました。

- ①ダンパーを新品時と同程度まで強化する処理
 - ②エッジは強化処理と表面に塗布されている水鉛様の塗布材を表面と裏面双方に再塗布
 - ③コーン紙(楕円形の紙)も紫外線やカビ、ホコリにまみれていましたので清掃とコーン紙強度も兼ねて専用着色材で塗り直し
- 結果は想像していたとおりかなりの大音量でもハウリングは発生しなくなりました。またこの処理は以下のような症状にも有効です。

スピーカーがこのように感じられるときは？

- ・ハウリングが起きやすくなった
- ・低音の締りがなくなった
- ・音像の明瞭度が以前に比べると悪くなった



左は、「ダンパーと言う部品」

右は、エッジ部分



「第三世代のYAKは？研究中です！」

今後道を開けるようにと、今、山下さんが研究中です。いい情報がお伝えできるようにがんばってくれるそうです。しばらくお待ちください。